

社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

令和3年度事業実績報告書

# 1 在宅福祉サービスの推進

## (1) 職員の構成（令和4年3月31日現在）

事務局	居宅介護支援事業所	訪問看護事業所	訪問介護事業所
13名	4名	14名	10名
小規模多機能型居宅介護事業所		療養通所介護事業所	
18名		9名	

## (2) 居宅介護支援事業所こぶしの活動状況

### 《事業の概要》

要介護者や要支援者からの相談を受け、自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する知識、技術を有したケアマネジャーが、心身の状況に応じた適切なサービスが受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）を作成し、連絡調整等を行っています。

主任ケアマネジャーの研修を受けた者を配置し、24時間の連絡相談及び実習生の受け入れや特定事業所加算を取得した他事業所との研修会を計画し参加しています。

### 《現状と課題》

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって2年が経過し、感染予防対策を実施しながら業務を継続しています。業務は、変わらず多忙を極めていますが、できるだけ心身への影響が出ないように職員同士が理解、協力して「心もからだも休む」よう意識しています。

課題としては、①一人暮らしの認知症で、心臓や糖尿病などの持病をもつ方々への内服管理の支援をどうしていくのか。②退院前カンファレンスの開催が困難となり、現状が把握できない状況下で自宅へ戻ってくる方への支援を地域連携室が稼働していない状況下でどう支援していくのか。③家族からの要望に対するケアマネジャーの対応が年々困難となっている事に対して、業務の遂行の難しさと気持ちのコントロールをどう整えていくのか。

① 介護相談 延 80 件（ケアマネジメント依頼：69 件、介護：12 件、認知症：18 件）

\*介護相談内訳は重複

末期、独居認知症による内服管理困難、精神疾患をもつ人の行き場、暫定利用など

② 友愛訪問 12 件

\*サービス利用前に訪問するが、ご逝去や入所、相談のみ、独居認知症

③ ケアプラン作成状況（延べ件数） 新規： 59 件 終了： 25 件

(令和3年度)

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合計
件数	629	408	206	171	113	51	1,578

(令和2年度)

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合計
件数	554	287	206	196	124	57	1,424

- ④ 担当者会議 148 件
- ⑤ 医療連携（入院時情報提供） 56 件
- ⑥ 退院前カンファレンス参加 22 件
- ⑦ 要介護認定訪問調査 町内： 0 件 町外： 12 件

⑧ 研修・出張状況

月	研修名
5月	兵庫県介護支援専門員協会南播磨支部総会（Web）
7月	稲美町ネットワーク会議（事例検討） 第2回在宅医療・介護連携研修会「認知症独居高齢者支援」 稲美町合同ケアマネ研修「コロナ感染拡大によるケアマネジャーの課題について」 介護支援専門員更新研修（1名）
7月～12月（全9回）	介護支援専門員 更新研修A 前後期
9月	稲美町ケアマネ会議（口腔ケアのプラン位置づけ意識）
9月	がん患者さんへの緩和ケア（Web研修） IoTを活用した高齢者の見守り（Web研修）
10月	介護現場におけるハラスメント対策（Web研修）4名

- ・稲美町ネットワーク会議（事例検討会・在宅ケア向上研修会）：年3回
- ・稲美町ケアマネジャー連絡会：6月
- ・特定事業所加算取得事業所合同研修：年2回
- （7月：コロナ感染拡大によるケアマネジャーの問題提起について・10月：民生児童委員加古地域部会合同研修）
- ・主任ケアマネジャー活動（ケアマネジャー支援・事例検討会）：年1



	医療訪問	合計
NS訪問	1,131	1,717
PTOT	586	

令和2年度 訪問総延べ件数 6,865 件

	介護保険					予防介護保険				
	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計	20分 訪問	30分 訪問	60分 訪問	90分 訪問	合計
NS訪問	56	880	1,425	242	3,908	8	351	534	2	1,460
	20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問			20分 訪問	40分 訪問	60分 訪問		
PTOT	3	578	724			0	317	248		

	医療訪問	合計
NS訪問	917	1,497
PTOT	580	

③ 主治医 町内 14名 町外 39名

④ 実習生受入れ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため実習はなし

⑤ 研修・出張状況

月	研修名
7月	介護職員等によるたん吸引等指導者講習会
6月	在宅訪問分野で使えるフィジカルアセスメント（オンライン）
10月	介護現場におけるハラスメント対策（オンライン）5名
11月	治療抵抗性の苦痛と鎮静（オンライン）2名参加
11月	訪問看護師基礎研修（オンライン）
11月、12月	高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす（オンライン）
12月	ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント（オンライン）
令和4年2月	がん看護スキルアップ研修（オンライン）
3月	東播磨ブロック研修会「エンゼルケアとその後」3名参加

・ステーション連絡会は、4回開催（内リモート会議2回）

#### (4) 療養通所介護事業所 ひだまり畑 活動報告

##### 《事業の概要》

医療依存度が高くほかの通所施設の利用が困難な重度の要介護者や難病の方に通所していただける施設です。また、重度心身障がい者（児）の日中一時支援も行っています。利用者が少人数なので密で個別的なケアを提供し、常時看護師がいるので医療的ケアも併せて行っています。外に出る機会の少ない在宅療養中の方々の外出する機会の場としての役割も担っています。職員2名以上、そのうち1名は看護師で個別送迎・個別入浴を行い、利用者1.5人に対し職員1人以上の配置が必要な事業所です。

##### 《現状と課題》

令和3年4月の介護報酬改定により月単位の包括報酬に変更になり、日中一時支援も同様の月単位の包括報酬に変更になりました。今までは利用回数によって収入が左右されていましたが、今年度からは利用者数によって収入が変わってきます。介護報酬改定で利用者の負担金額が高くなり令和3年3月末で辞められた方が2名、12、1月の2ヶ月の間に3名の方が亡くなれ利用者総数は25人減少しています。しかし、3月末で辞められた方が1名再利用されています。このことから、利用負担金額が高くても個別的ケアの質を高めることが大切であることがわかりました。利用者確保に向けて、ケアマネジャーにひだまり畑の特性などを知ってもらうことが必要だと考えます。今年度は、利用者1名と利用者の家族が新型コロナウイルス感染症に罹患したため、休業することになりました。基本的な感染拡大防止対策を日々行うことで、幸いにも事業所がクラスターになる事はありませんでした。また、職員の家族が新型コロナウイルス感染症に罹患し自宅待機するという事もありました。このような事から人員の確保に努める事や現在の人員を有効に配置することも大切ですが、職員の精神的フォローも重要だと考えます。

令和3年度 総利用者数：87人 延べ利用回数：499回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	2	2	2	3	3	3	3	4	3	2	2	2	31
日中	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4	4	56
総数	7	7	7	8	8	7	7	9	8	7	6	6	87
回数	39	40	43	43	48	39	42	52	45	38	29	41	499

令和2年度 総利用者数：112人 延べ利用回数：608回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----

介護	5	5	5	5	5	5	4	5	3	3	4	4	53
日中	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	59
総数	10	10	10	10	9	10	9	10	8	8	9	9	112
回数	44	36	64	60	44	51	56	51	48	44	48	62	608

・新規契約者 3名

・終了者 4名（死亡：4名）

・臨時休業 7日（警報発令1日）

新型コロナウイルス感染症に利用者1名が罹患しスタッフ4名が濃厚接触者となったため5日間の休業

利用者の家族が新型コロナウイルス感染症に罹患したため保健所の指示を仰ぐため1日休業

・利用の問い合わせ 8件 介護保険利用者：7件 日中一時支援：1件

#### ① 研修・出張状況

月	研修名
6月	医療的ケア看護師講習会
6月	重症心身障がい児者への3大ケア
8月	口腔ケア支援の実践研修会 2名参加
10月	介護現場におけるハラスメント対策（オンライン）5名参加
11月	安らかな最期を迎えるために“悔いのない生き方と逝き方とは”
12月	がんがおしえてくれたこと“夢が自分を大きくする”

② 実習受け入れ：なし

③ 9/29 安全・サービス提供管理委員会文書開催

3/15 運営推進会議文書開催

### (5) 訪問介護事業所 スマイル173（いなみ）活動報告

#### 《事業の概要》

介護援助の必要な、高齢者および障がいのある方に介護士を派遣しています。

また、障がいのある方が障害福祉サービスを利用する際に必要な計画作成を行う指定特定相談支援事業も実施しています。

《現状と課題》

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から2年経ちましたが、日々感染防止を心掛けて仕事に取り組んでいます。3年度も2年度に引き続き、職員が感染すること無く1年を過ごすことが出来ました。毎日の健康チェックと管理、ご家庭を1件1件訪問する度に手洗い・手指消毒を徹底するなど 職員の気の使い様は大変なもので精神的に負担の大きいものでした。

課題としては、訪問希望時間の重複が顕著で、新ケースを受けられないことが多いことと人員確保の難しさが挙げられますが、今後も利用者の方の在宅生活を支えていきたいと考えています。

① 延べ利用者数 = 529人 (令和3年度)

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
143人	136人	0人	190人	23人	35人	2人

延べ利用者数 = 791人 (令和2年度)

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
165人	237人	4人	246人	47人	92人	0人

② 介護保険 (令和3年度)

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	812.62H	280.25H	375.04H	1,467.91H
回数	1,074回	371回	356回	1,801回

介護保険 (令和2年度)

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	1,234.50H	202.50H	464.82H	1,901.82H
回数	1,423回	230回	452回	2,105回

③ 訪問型サービス (総合事業) (令和3年度)

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	13.00H	402.75H	345.50H	761.25H
回数	14回	534回	358回	906回

訪問型サービス（総合事業）（令和2年度）

	身体介護	生活援助	身体生活	合計
時間	0H	764.50H	395.50H	1,160.00H
回数	0回	1,007回	440回	1,447回

④ 障害福祉サービス（令和3年度）

	身体介護	家事援助	同行援護 基本決定	通院介助 (身介有り)	通院介助 (身介無し)	重度訪問	移動支援 (身介有)	移動支援 (身介無)	合計
時間	926.00	1,172.00	75.00	0	0	0	48.00	79.50	2,300.50
回数	1,324	1,142	71	0	0	0	31	84	2,652

障害福祉サービス（令和2年度）

	身体介護	家事援助	同行援護 基本決定	通院介助 (身介有り)	通院介助 (身介無し)	重度訪問	移動支援 (身介有)	移動支援 (身介無)	合計
時間	827.50	1,755.00	171.00	0	0	0	203.50	170.00	3,127.00
回数	1,163	1,676	142	0	0	0	191	132	3,304

- ・有料 0件 0時間
- ・エンゼルヘルパー 延べ2名
- ・布団丸洗い 延べ2名

⑤ 研修・出張状況

月	研修名
6月	兵庫県ホームヘルプ事業者協議会 管理者研修（オンライン）
7月	稲美町ネットワーク会議
10月	訪問看護師・訪問介護等への 利用者・家族からの暴力等対策（オンライン） 3名参加
11月	BCP策定・運用ポイント（オンライン）
12月	「聴覚障害」の理解セミナー 2名参加
令和4年2月	東播認知症勉強会「アルツハイマー型認知症」（オンライン）6名参加

- ・その他、在宅サービスセンターの内部研修に参加
- ・稲美町ネットワーク会議（2ヶ月に1回開催）

## ① 指定特定相談支援事業

延相談件数	計画作成件数	モニタリング
1 件	4 件	4 件

## ② 研修・出張状況

月 日	研 修 名
偶数月	稲美町障がい者支援事業所等連絡会
10 月	介護現場におけるハラスメント対策（オンライン）

## (6) ひなたんぼ小規模多機能ホーム 活動報告

### 《事業の概要》

通所、宿泊、訪問をご利用様のニーズに合わせ柔軟に組み合わせてご利用いただけます。

24 時間 365 日営業の事業所です。宿泊は、一日 5 名まで、通所は原則 15 名までです。

### 《現状と課題》

登録人数の減少がある中、夜間不眠で眠れず家族の介護負担が増大し、すぐの支援が必要と認定を待たずに契約を行い喜んでご利用していただいていたのですが、病気が発覚、入院となり短期間で終了となったケースがあります。他に利用開始されるも在宅介護が出来ないと入所になる方もおられ、登録人数が安定しない状況があります。急に介護が必要になった方、独居になってしまった方が、長く地域や自宅で暮らし続けるための支援が課題であると思っています。

### ご報告

6 月に 5 日間通所を休み訪問に切り替えた件について、職員 1 名が新型コロナウイルス感染症濃厚接触者と認定され 2 週間自宅待機となりました。ひなたんぼ職員全員の抗原検査陰性確認、所内消毒を行いました。その後は職員・ご利用様の体調不良報告はありませんでした。

## ① 登録・利用状況

新 規： 10 名

終 了： 12 名（入院 5 名・入所 5 名・自己都合 2 名）

相 談： 21 件（包括 9・家族 2・居宅 6 こぶし 3・Dr1）

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	21	20	17	15	17	15	16	17	18	16	17	17	206

・利用実日数（日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	30	31	25	31	31	30	31	30	30	30	28	31	358
訪問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
泊まり	22	23	16	19	18	17	18	16	14	14	17	14	208

・利用延べ人数（人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	357	326	225	251	276	254	270	274	258	240	233	240	3,204
訪問	141	126	107	130	117	135	131	115	134	119	122	119	1,496
泊まり	69	57	29	34	38	31	34	30	27	26	17	26	418

・介護度別利用者数及び平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	6
支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
介護1	10	10	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	72
介護2	7	7	7	7	8	7	7	8	8	7	8	7	88
介護3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
介護4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
平均 介護度	1.9	1.8	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.1

令和2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	19	17	16	18	20	20	20	21	20	21	19	19	230

・利用実日数（日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364

訪 問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
泊まり	30	28	26	22	27	22	23	22	21	22	18	21	282

・利用延べ人数（人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通 い	307	271	269	300	345	325	357	337	309	330	305	335	3,790
訪 問	129	131	135	119	138	155	194	175	145	218	144	151	1,834
泊まり	71	45	37	44	75	55	51	51	47	54	57	58	645

・介護度別利用者数及び平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
支援2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
介護1	6	6	6	6	9	9	8	8	6	8	8	8	88
介護2	9	7	6	7	7	7	7	8	9	8	7	7	89
介護3	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	8
介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
平均 介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2	2	2.1	2.1	2.2	2.1	1.9	1.9	2.1

※平均介護度は要支援含まない

② 運営推進会議（5月、7月、9月、11月、R4年1月、3月）

7月、11月新型コロナウイルス感染症対策として広い部屋で十分な距離を保ち開催（5月、9月、R4年1月、3月は書面にて各委員に報告）。

③ 協力病院との連携

・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中の為中止（歯科医師による検診）

④ 実習及び施設受け入れ

・新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止

⑤ ボランティア協力

・散髪（1回/月）

・他は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止

⑥ 地域との交流（コロナ禍の状況）

・加古幼稚園との交流、

敬老の日に幼稚園児がお祝いに壁面似顔絵を持参してくれました。玄関にて

代表が受け取りお返しにご利用者が作ったトンボや果物模型を渡しました。

12月クリスマス、ご利用者1名とサンタクロースで訪問、短時間交流しました。

#### ⑦ 外出レク

##### ・1月

天満神社に初詣、お賽銭を各自持参し今年の願いをお祈りしました。

##### ・2月

梅の香りを求めてドライブに行きました。

##### ・3月

桜のお花見、小野の方へ出かけ桜並木を眺めました。

- ・ご利用者様が以前のように喫茶店で美味しいコーヒーやスイーツを楽しみたいとの要望がありますが、コロナ禍のなか難しいため、中庭の花壇でお茶を楽しむ企画をしました。

#### 研修・出張状況

月	研 修 名
6月	医療的ケア講習会
8月	口腔ケア支援実践 研修会 2名参加
9月	認知症について
10月	介護現場におけるハラスメント対策（オンライン研修）

### (7) 給食サービス

#### 《事業の概要》

高齢や障がいなどで調理が困難な家庭に、毎週水曜日（7、8月除く）に給食ボランティアが調理したお弁当を民生委員・児童委員や民生協力委員、配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けしています。

#### 《現状と課題》

令和3年度は、2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止かつボランティアの安全を考え通常事業は休止。希望者に業者調理のお弁当を職員、民生委員、民生協力委員、有志ボランティアが安否確認を兼ねてお届けしました。

配食数は年々減少しており、登録者は30人不足で推移しています。

つながりの部分を大切に一軒一軒配食しました。

またこれまでに関わりがなかった別の活動のボランティアの方にも参加していただくなど新しいつながりの可能性を感じました。

対象者 一人暮らしの高齢者・障害者・高齢者世帯等

サービス内容 第1～第5水曜日（7月・8月除く）

利用料金 200円／回

#### 給食サービス活動状況

	4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	37	32	54	54	52	43	55	59	43	78	507人
調理ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
実施日数	4	3	5	5	4	3	4	4	3	5	40日
配送グループ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人

配送担当 担当民生委員 5名 民生協力委員 7名 有志ボランティア 2名

### (8) 外出支援サービス事業

#### 《事業の概要》

町が実施している「いきいきセミナー」や「いきいきサロン」などへ参加したくても移動手段のない方を運転ボランティアが送迎しています。

#### 《現状と課題》

ボランティアが減少しているため広報等呼びかけをしていますが確保が難しいです。また予定していたボランティアが活動できなくなった場合はボランティア同士調整をさせていただいたり、職員が代わって対応しています。背景には、定年制の延長やフルタイムではなくても仕事を続けておられる方が増えていることもあるのではないかと思います。

今年度はいきいきセミナーの送迎については12月よりボランティア送迎を再開いたしました。

	実利用者数	延べ利用者数	ボランティア 延べ活動人数	利用日数
いきいきセミナー	3人	28人	24人	26日

### (9) 介護用具貸出事業

#### 《事業の概要》

介護保険等を利用できない方を優先に介護機器を貸出しています。

#### 《現状と課題》

毎年多くの方にご利用いただいています。

自走式だけではなく、介助式の車いすの需要が増えている印象があります。

また、貸し出し・返却の手続きにご本人やご家族が来所できず、ケアマネジャーが代理されている場合もあります。子ども用車いす、介助式車いす、シャワー椅子を新調しました。

貸出台数 (延べ)	車イス	その他 (シャワー椅子、歩行器等)
	147 台	13 台

## (10) 視覚障害者用朗読テープ利用者

### 《事業の概要》

情報を得る事が難しい視覚障害のある方を対象にテープや CD で町広報や社協だより、新聞コラムなどの情報を音声でお届けしています。

### 《現状と課題》

新聞コラムの録音をされたり、利用者にアンケートを行うなど利用者を楽しんでもらえるよう内容を工夫されています。

内 容	送付回数	実人数	延べ人数
広報・社協だより・新聞コラム	12	3	36

## (11) 地域生活支援事業「おたがいさん」

### 《事業の概要》

支援の必要な方に対して暮らしのちょっとした困りごとを有償サポーターにお手伝いしていただくことで、地域のたすけあい活動を進めていきます。また活動の際には、利用者本人にも無理のない範囲の協力をお願いし、サポーターと共に行う活動を目指します。

### 《現状と課題》

草引きや簡易な清掃、買い物など新型コロナウイルス感染症対策をしながら対応しました。令和 2 年度よりも活動が増えたのでやりがいを持ってサポーターに取り組んでいただくことができました。

・サポーター登録者 25 名

・依頼世帯 実人数 29 名

本人の状況	家族状況	人数
-------	------	----

高齢	独居	19
	夫婦	5
	障害のある家族	2
	介護者を抱える家族	1
	二世帯	1
その他	独居	1

・依頼延件数

件数	活動サポーター
97件	97名

・依頼内容 97件

内容	件数
清掃	29
草刈り、草引き、剪定	28
買い物	23
修理、部品交換	5
その他	12
合計	97

## (12) 介護ボランティアポイント事業

### 《事業の概要》

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者による介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、地域貢献や社会参加を促進し、自分自身の介護予防や、地域の介護予防を推進することを目的として実施しています。

町内に住所がある65歳以上の人（介護保険の要介護認定を受けている人などは除く）が対象です。町が指定する社会福祉法人などの施設（受入施設）でボランティア活動を行った場合に、その実績に応じてポイントを付与します。ポイントに応じ、活動交付金（稲美町共通商品券）を交付します。

### 《現状と課題》

活動受け入れをしてくださる施設が1か所増えました。今年度より説明会を毎月1回開催しています。また、担当者会議を行い情報共有を行うことで活動をひろげていきたいと思っております。

登録ボランティア	32名
手帳発行部数	32冊
活動先	3か所
登録活動先	9か所

■施設活動 25件

施設名	件数
稲美苑	22
あさぎ	3
合計	25

(お手紙 12 件、草引き 13 件)

■在宅活動 76件

施設名	件数
社会福祉協議会	76
合計	76

(すべておたがいさんの活動です。おたがいさんサポーター25名のうち15名が介護ポイントボランティアとして登録。)

■介護ボランティアポイント説明会

回数	参加者
4	9

■その他

既存ボランティア対象説明会 1回 15名

介護ボランティアポイント事業担当者会議 1回 6名

## 2 当事者への支援

### (1) 介護者のつどい「さくら草の会」

#### 《事業の概要》

介護者がつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと心のリフレッシュを目的としています。介護の種別は問いません。

原則毎月第4金曜日 10時～12時

#### 《現状と課題》

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の月も多かったですが、参加者からの要望を受けて、感染防止対策を講じ、時間も1時間に短縮し実施しました。

昨年度に引き続き、ソーシャルディスタンスを取りながらのおしゃべり会は難しいため内容的には事務局からの情報提供が中心となりました。

コロナ禍でも顔見知りの皆さんと顔を合わせることが元気につながると多くの方がご参加下さいました。

月 日	参加者	内 容
4月23日	12名	障害福祉サービスと介護保険サービスの違いについて
5月	—	緊急事態宣言下のため中止
6月25日	4名	おしゃべり会(蔓延防止等重点措置期間のため参加人数減少)
7月16日	11名	新型コロナウイルスワクチンについて
8月～9月	—	緊急事態宣言下のため中止
10月22日	10名	認知症新薬について
11月26日	11名	老後資金について
12月24日	10名	回想法について
1月～2月	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月25日	12名	ユマニチュードについて

### (2) 認知症を学ぶ会「ほっとファミリー」

#### 《事業の概要》

認知症の方を支えている皆さんがつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと「ほっ」とできる場づくりを目的としています。

原則毎月第4木曜日 10時～12時

#### 《現状と課題》

現状としては、定期参加のメンバーが多数を占めており、気兼ねのない話し合いができる場となっています。また、稲美町外の介護者家族なども幅広く受け入れる形にしております。その反面、定期参加しているメンバーの高齢化や新規メンバーが定着しにくいといった点から、メンバー数が減少し例会の内容が固定化している課題があります。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を鑑み、実施回数は5回となりました。

月 日	参加者	内 容
4月22日	6名	おしゃべり会
5月27日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月24日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7月29日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
8月26日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
9月30日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
10月28日	6名	おしゃべり会
11月25日	8名	おしゃべり会
12月23日	8名	おしゃべり会
1月27日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2月24日	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月24日	1名	おしゃべり会

### (3) 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

#### 《事業の概要》

発達障害などのちょっとした違いで社会の中でうまく距離がつかめないなどの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会です。

原則毎月第2水曜日 10時～12時

#### 《現状と課題》

家族で抱え込みがちで、なかなか得にくい情報に関しても、経験豊富な親からのアドバイスが頂ける貴重なつどいになっています。

このつどいで課題を抱えている世帯を障がい者基幹相談支援センターが支援するなど相互連携にも取り組んでいます。

月 日	参加者	内 容
4月14日(水)	5名	おしゃべり会

5月	—	緊急事態宣言下のため中止
6月9日(水)	5名	おしゃべり会
7月14日(水)	6名	おしゃべり会
8月～9月	—	緊急事態宣言下のため中止
10月13日	7名	おしゃべり会
11月10日	6名	おしゃべり会
12月8日	6名	オンライン研修「障害のある人の進路について」
1月12日	3名	おしゃべり会
2月	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月9日	2名	おしゃべり会

#### (4) 子育てひろば事業

- ・ひろば設置数 6ヶ所

子育てフェスティバル 中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の為)

- ・三世代交流事業

中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の為)

#### (5) 個別支援

- ・当事者のオープンかふえ参加支援 (F氏) 5回

### 3 小地域福祉活動の推進

#### (1) 福祉委員活動状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため役員会、総会とも中止。

- ・福祉委員初会合 総会と研修会を兼ねて昼と夜の分散開催

役場コミュニティセンターホールにて

(内容) 社会福祉協議会・福祉委員活動についての説明

福祉会費納入依頼 (例年より2か月遅れ)

7月16日 14時から15時 (37名)

7月16日 19時から20時 (25名)

同時に、フードドライブをお願いしました。集まった物品は、子育て中の23世帯にお配りしました。

・9月の福祉委員研修会 中止

・福祉委員宛 お知らせ・チラシ等

令和3年7月7日 フードドライブ協力依頼

令和3年9月17日 共同募金について

令和3年11月19日 歳末助け合いについて

令和3年12月13日 近況報告、ボランティア募集チラシ

令和4年2月3日 近況報告、ボランティア募集チラシ

令和4年3月1日 アンケート実施

・福祉委員役員宛 兵庫県社協広報紙、チラシ等

令和3年8月2日

令和3年9月16日

令和3年12月13日

## (2) 福祉懇談会開催状況

加古地区	母里地区	天満地区	天満東地区	天満南地区
上新田 (10月23日)		北山 (10月19日) 小池前 (11月6日) 稲美野荘園 (12月12日)	百丁場連合 (10月30日)	大池 (9月19日)

従来の住民を対象とした研修会形式ではなく、自治会長・副会長・福祉委員・民生委員児童委員・民生協力委員といった少人数での開催にしました。生活支援コーディネーターも参加し、顔つなぎに加え、地域の実情について把握させていただきました。当初、1時間懇談の予定が、2時間を超える地区もありました。

# 令和3年度福祉委員アンケート

58名/65名（回収率89.2%、男性37名、女性17名、不明4）

① 昨年は9割の方が自治会の行事が減ったとお答えでした。

今年、再開した行事はありましたか？

ある 12名     ない 42名     わからない 4名

具体的にどのような行事が再開しましたか？

（役員会、とんど、クリーン作戦、いきいきサロン、福祉懇談会、自治会のまつり）

② 2年近く新型コロナウイルスの影響が続いています。ご自身の生活への影響はいかが？

大きく影響した 16名     少し影響があった 27名

例年通りだった 15名

具体的に、困られたことなどをお教えてください

- 友人と会えなくなった    • 旅行や食事会が減った、行けなくなった
- 健康のためのスポーツを中断    • グループ活動がしにくくなった
- 家族が感染して1週間仕事を休んだ    • 生活用品の買い物さえしにくくなった
- 多くの人が集まる場所へは行きにくくなった    • ご近所との触れ合いがしにくくなった
- 行事や祭りなどのイベントがなくなり、子どもの楽しみが減った
- 仕事がなくなり、生活費を切り詰めている
- マスクで表情が読み取りづらくなった    • 在宅勤務になり、出社は年に2~3回
- 社会参加の機会が減った

③ コロナ禍で人とのつながりが減ったと言われていますが、ご自身の生活ではいかが？

\*複数回答可\*

直接会うことが減った 29名     家族以外と話す機会が減った 14名

パソコンやスマホなどでつながっている 11名     変わらない 17名

④ ③で、人とのつながりが減ったと感じていらっしゃる方にお尋ねします。

そのことに関して、何か、工夫されたことはありますか？

ある 13名

- 近所の友達と食糧を持ってハイキング、山登り    • ZOOMの導入
- メール、スマホの活用    • 人と会う時は必ずマスク、手洗いうがいなどの感染予防

- ・ SNS を活用
- ・ 屋外で、少人数で会うようにする

特になし 22 名

その理由をお教えてください

- ・ コロナが落ち着くまで我慢する
- ・ 仕方がないと思う
- ・ 今は、辛抱するときだと思うので

⑤ これからの社会では、身近な地域の人同士の助け合いが必要と思われますか？

そう思う 46 名  そう思わない 3 名  わからない 8 名

⑥ 地域での助け合いや支えあいの活動があれば、参加されますか？

参加する 45 名

参加しない 9 名 ⇒ 参加されない理由をお教えてください。

- ・ 今は必要性を感じない
- ・ 自ら進んでの参加は苦手です
- ・ 気持ちに余裕がない
- ・ 参加への恐怖心等
- ・ 不器用でできることが少ないと思う
- ・ すでに自治会等で活動したので
- ・ 身近な地域では参加しない方がよいと思う

⑦ 稲美町社会福祉協議会の広報誌「社協だより」をお読みいただいていますか？

毎回読んでいる 21 名  たまに読んでいる 33 名  読まない 3 名

お読みになった感想があればお願いします。

- ・ いろんな講演会の案内とか知らないボランティアの紹介等が掲載されていていい
- ・ どういう活動があるのか、見えています
- ・ 身近にこういった活動をしている人があることを知った
- ・ 地域での、社会福祉協議会の活動状況が詳細に記載されていてよく理解できる
- ・ 民間の募金や寄付をよく募っているが、本来は、行政や政治の仕事ではないかと思う
- ・ 勉強になる

⑧ その他ご質問等あればご記入ください

- ・ 福祉と人と人とのつながりがよくわかる
- ・ 福祉委員になっても、まだ活動していないのでよくわからない
- ・ 早くこのコロナが終息することを願うばかりです

### (3) いきいきサロン実施状況

#### 《事業の概要》

月1回、おおむね65歳以上の高齢者が地域の公民館等に集い、ニュースポーツや体操、手工芸や脳トレなどで午前中の約2時間を過ごす事業です。ハートスタッフを専任で配置し、毎年会場ごとに事業の計画を行っています。必要に応じてボランティアを配置しています。原則は、歩いて行ける地域の公会堂が会場ですが、高齢や障害等により参加が困難な方には送迎サービスも行います。

多様なニーズに見合う事業を展開することで、高齢者の健康づくり、閉じこもり予防、生きがい対策を推進し、健康長寿の実現を目指しています。

#### 《現状と課題》

会長等役員のなり手がいないために老人クラブ連合会を脱会したり、地区内の老人クラブそのものを解散したりする地区が増えてきました。いきいきサロンは主に老人クラブに運営をお任せしているため、老人クラブ解散と同時にいきいきサロンも実施できなくなってしまう事態も出てきました。

健康長寿の実現のためには社会と多くの接点を持つことが不可欠であるということは、多くのデータが示唆しています。老人クラブに入会し、高齢者自身が積極的にサロンに参加したいと思えるような動機づけが必要ですし、また、できるだけ役員の負担を軽くする工夫も必要かと思われます。

8月以降の希望月から、隔月で時間を短縮して(2時間→1時間)開催しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止せざるを得ない月があったことで、1回しか開催できない会場もありました。

スタッフとしての参加：ハートスタッフ 16人、 ボランティア 0人

	参加実人数	参加延べ人数	新規参加者
令和3年度	749人	1,173人	41人
令和2年度 (体力測定のみ)	586人	586人	26人
令和元年度	1,265人	8,897人	84人
平成30年度	1,342人	9,966人	134人
平成29年度	1,356人	9,917人	122人
平成28年度	1,392人	10,438人	121人
平成27年度	1,467人	10,922人	123人
平成26年度	1,448人	11,058人	152人

平成 25 年度	1,433 人	10,774 人	148 人
平成 24 年度	1,464 人	10,891 人	162 人

- ・ハートスタッフ会議 4 回
- ・サロンボランティア会議 1 回

■頭の体操プリント配布（いきいきサロンが中止になった時のみ）

- 5 月 第 5 弾 2,197 部
- 7 月 第 6 弾 2,097 部
- 9 月 第 7 弾 2,175 部
- 3 月 第 8 弾 2,252 部

■いきいき脳トレ DVD（約 120 分）を希望者に配布 305 名

ハートスタッフの協力により家庭でできる脳トレや体操などを約 120 分にまとめました。

■いきいき健康記録シートを希望者に配布

前年度から継続されている方が数名いらっしゃいます。一度に 3 か月分をお渡ししています。

令和3年度いきいきサロン事業 実績報告(4月～3月)

	開催地区名	実人数	実施回数	延人数	1人当り参加回数	高齢者数	高齢者参加率	高齢化率	後期高齢参加者数	後期高齢参加率	男	女	新規参加者
		A	B	C	C/A	E	A/E(%)	(%)	F	F/A(%)			
加古	五軒屋	16	1	16	1.0	139	11.5%	36.1%	6	37.5%	7	9	4
	池の内	8	2	14	1.8	35	22.9%	33.3%	5	62.5%	4	4	2
	北新田	21	1	21	1.0	164	12.8%	36.9%	9	42.9%	9	12	3
	大沢	11	1	11	1.0	45	24.4%	38.1%	6	54.5%	6	5	0
	上新田	22	2	28	1.3	206	10.7%	32.0%	18	81.8%	7	15	2
	上新田高層住宅	0	0	0	0.0	63	0.0%	26.3%	0	0.0%	0	0	0
	千和池	0	0	0	0.0	60	0.0%	31.9%	0	0.0%	0	0	0
	中新田	14	2	24	1.7	164	8.5%	36.7%	10	71.4%	4	10	0
	三四軒屋	0	0	0	0.0	119	0.0%	35.6%	0	0.0%	0	0	0
	六軒屋	13	2	25	1.9	57	22.8%	35.4%	10	76.9%	5	8	0
	見谷	13	2	20	1.5	162	8.0%	36.3%	10	76.9%	2	11	1
	七軒屋	14	1	14	1.0	67	20.9%	40.1%	11	78.6%	9	5	0
	八軒屋	0	0	0	0.0	103	0.0%	32.7%	0	0.0%	0	0	0
母	蛸草(第一)	12	3	28	2.3	156	7.7%	36.8%	9	75.0%	6	6	1
	蛸草(第二)	16	2	29	1.8	207	7.7%	32.4%	11	68.8%	5	11	4
	印東	14	2	20	1.4	222	6.3%	33.5%	12	85.7%	8	6	0
	印西東	3	1	3	1.0	132	2.3%	38.4%	2	66.7%	2	1	0
	印西西	10	3	24	2.4	172	5.8%	31.8%	7	70.0%	5	5	2
	学校前	11	2	20	1.8	52	21.2%	35.9%	7	63.6%	5	6	0
	上野谷	16	3	32	2.0	95	16.8%	35.6%	12	75.0%	3	13	1
里	下野谷	16	2	28	1.8	87	18.4%	34.5%	15	93.8%	6	10	0
	草谷	25	2	43	1.7	318	7.9%	40.7%	22	88.0%	13	12	2
	下草谷	17	2	17	1.0	122	13.9%	35.8%	3	17.6%	10	7	2
	野寺	15	2	24	1.6	175	8.6%	33.0%	11	73.3%	6	9	1
	野谷団地	4	3	11	2.8	24	16.7%	31.2%	4	100.0%	1	3	0
天	中村	11	1	11	1.0	56	19.6%	29.5%	3	27.3%	3	8	0
	菊徳	14	2	26	1.9	135	10.4%	20.5%	9	64.3%	2	12	1
	稲美野荘園	28	2	43	1.5	480	5.8%	42.8%	19	67.9%	8	20	0
	向山	16	2	22	1.4	212	7.5%	34.2%	13	81.3%	2	14	0
	下沢	0	0	0	0.0	124	0.0%	42.0%	0	0.0%	0	0	0
	西山	17	1	17	1.0	73	23.3%	39.5%	10	0.0%	6	11	2
	金守	0	0	0	0.0	131	0.0%	37.6%	0	0.0%	0	0	0
	北山	12	2	20	1.7	153	7.8%	38.2%	6	50.0%	3	9	0
	西和田	0	0	0	0.0	64	0.0%	39.5%	0	0.0%	0	0	0
	中一色	14	3	32	2.3	136	10.3%	37.2%	8	57.1%	7	7	0
	和田	22	2	42	1.9	94	23.4%	30.8%	18	81.8%	8	14	0
	東山	31	2	48	1.5	297	10.4%	52.5%	30	96.8%	9	22	0
	幸竹	14	1	14	1.0	114	12.3%	31.4%	10	71.4%	5	9	1
	森安	0	0	0	0.0	123	0.0%	38.3%	0	0.0%	0	0	0
	六分一	29	2	44	1.5	470	6.2%	33.9%	18	62.1%	15	14	2
	六分一山	13	3	30	2.3	226	5.8%	37.0%	6	46.2%	4	9	1
	大池	17	2	24	1.4	173	9.8%	45.4%	13	76.5%	7	10	2
満	第五昭和苑	0	0	0	0.0	99	0.0%	39.4%	0	0.0%	0	0	0
	相ノ山	28	3	59	2.1	432	6.5%	28.4%	23	82.1%	10	18	1
	岡西	42	2	65	1.5	275	15.3%	31.5%	33	0.0%	21	21	0
	岡東	21	2	35	1.7	189	11.1%	28.7%	12	57.1%	4	17	0
	出新田	16	1	16	1.0	138	11.6%	36.4%	1	6.3%	7	9	1
	百丁場	11	2	18	1.6	41	26.8%	35.3%	4	36.4%	1	10	1
	十七丁	20	2	33	1.7	109	18.3%	26.2%	14	70.0%	9	11	0
	琴池	0	0	0	0.0	130	0.0%	27.7%	0	0.0%	0	0	0
	国安	0	0	0	0.0	244	0.0%	18.3%	0	0.0%	0	0	0
	国北	23	2	38	1.7	355	6.5%	29.1%	18	78.3%	12	11	0
	国安団地	0	0	0	0.0	65	0.0%	26.6%	0	0.0%	0	0	0
	国岡	25	1	25	1.0	998	2.5%	19.0%	13	52.0%	10	15	1
	小池前	16	1	16	1.0	121	13.2%	48.4%	5	31.3%	8	8	2
	昭和苑	12	3	29	2.4	92	13.0%	44.4%	7	58.3%	5	7	1
	愛宕	6	3	14	2.3	35	17.1%	25.2%	5	83.3%	2	4	0
	合 計	749	88	1,173	1.6	9,530	7.9%	34.5%	498	66.5%	291	458	41

#### (4) 生活支援等体制整備事業

##### 《事業の概要》

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体が連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする事業。

生活支援等サービスの多様な提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携・協働による生活支援等体制整備を推進することを目的としたネットワークとして協議体を設置。

平成 30 年度より、稲美町から受託。

##### 《現状と課題》

社会福祉協議会が、従前より担ってきた住民主体の地域福祉活動と軌を一にするものであることから、他市町においても、社会福祉協議会が受託しているところが多い事業です。

高齢者が生きがいをもって豊かな地域生活を送る前提として、身近なところに参加できる場や、活躍できる場の存在が大きな意味を持つという考えから、まず、地域の中にある大小様々な、居場所や活動に光を当てるところから取り組んでいるところです。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、活動が中断することが多く情報収集もあまり行えませんでした。サロン担当者と連携し、いきいき脳トレ DVD や脳トレプリントを作成し町内の高齢者に配布しました。下沢地区では「集まる場」のきっかけづくりに取り組みました。

##### ① 地域資源やニーズの把握

種 別	延べ回数	参 加 場 所
いきいきサロン	18 回	中新田、七軒屋、六分一山、見谷、中一色、国安団地、野寺、下野谷、岡東、五軒屋、中村、小池前、六分一、印西西、印西東、池ノ内、蛸草第二、向山
いきいき広場	1 回	六軒屋
いきいきミニ広場	3 回	北山、学校前
グラウンドゴルフ等	20 回	印東、国北、八軒屋、GG 協会、中新田、稲美野荘園、印西東、相ノ山、国安団地、印西西、幸竹、下沢ゲートボール、はまゆうゲートボール、北山、加古老連GG、西部隣保館GG交流、母里老連GG

福祉懇談会	4回	国安団地、北山、小池前、稲荘
喫茶、趣味の会等	11回	なんなん喫茶、稲美町老連行事（作品展）、桜ウォーキング、千和池（薬師堂）、吹き矢サークル、喫茶（令和：六分一山）、母里カフェ、盆栽展、いなそうふれいあいまつり、カラオケ（小池前）、フォークダンス
ラジオ体操の輪	23件	辞退1件、休止1件、継続17件、新規1件、故障・代替3件
居場所づくりに向けた活動	2件	下沢 ・まちの保健室（3名参加） ・ら・マロンコンサート（15名参加）

② 研修への参加 11回参加

月 日	内 容	会 場
4月3日（土）	認知症サポーター養成講座	天満南小学校
8月22日（日）	「居場所」サミット	オンライン
9月1日（水）	いきがい・助け合いサミット in 神奈川	オンライン
9月2日（木）	いきがい・助け合いサミット in 神奈川	オンライン
9月21日（火）	CLC オンライン研修「ホンモノの支え合いの見つけ方・地域歩きの極意」	オンライン
11月26日（金）	県社協より地域福祉推進計画のための勉強会	障害者ふれあいセンター
12月7日（火）	県社協生活支援コーディネーターオンライン実践研修	オンライン
2月8日（火）	コロナ下の住民活動と地域の拠点 ～集う・つながる・支え合う実践の現場～ オンライン研修	オンライン
2月10日（木）	加古川医師会研修会	オンライン
2月25日（金）	東播磨ブロック業務研修会	加古福社会館
3月16日（水）	認知症サポーターステップアップ研修	いきがい創造センター

③ 第一層協議体の開催について

第1回

日 時	内 容	会 場
令和3年 6月7日(月)	(1) 生活支援コーディネーターの動き (2) 地域の動き (3) 地域からの声 (4) 今年度の予定	加古福社会館 集会室

・出席者 16名(学識経験者や自治会、老人クラブ、基幹相談支援センターなど)

第2回

日 時	内 容	会 場
令和3年 12月10日(金)	(1) 生活支援コーディネーターの動き (2) 地域の動き (3) 地域からの声 (4) 今後の予定	加古福社会館 集会室

・出席者 15名(学識経験者や自治会、民児協などなど)

## 4 連絡調整事業の推進

### (1) 各機関連絡調整会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部会議は中止になりました。

(兵庫県社会福祉協議会管轄)

東播磨ブロック会長として県社協の会議に出席

① 兵庫県社会福祉協議会 理事会 R3.6.29(参集)、WEB会議

② 社会福祉政策研究会 R3.6.29(参集) 8.19 書面決議

③ 総合企画部会 R3.7.26

④ 市町社協活動推進協議会幹事会 R3.6.29(参集)

⑤ 政策提言に対する県からの回答会(R4.2.17)(県社協事務局対応)

社協会長会議 1回

トップマネジメントセミナー(R3.9.27) 1回

事務局長会議 1回中止、参集型1回、Web会議2回 3回

生活福祉資金貸付事業担当者会議 1回

日常生活自立支援事業担当者会議 4回

日常生活自立支援事業 専門員研修会		1 回
社協ワーカー実践研究会議		1 回
ブロック別交流勉強会（東播磨・淡路ブロック）		1 回
市町社協経営セミナー（連携管理編）		1 回
社会福祉情勢セミナー（R3.12.14）		1 回
重層的支援体制整備事業	Web 研修会	1 回
（東播磨ブロック管轄）		
東播磨ブロック協議会総会	書面決議	1 回
東播磨ブロック協議会事務局長会議	Web 会議	1 回
東播磨ブロック協議会職員部会		1 回
（兵庫県共同募金会管轄）		
理事会	書面決議 web R3.6.28	2 回
評議員会	書面決議	1 回
募金部会	web R3.7.16	1 回
事務局長会議	Web 会議	2 回
担当者会議		2 回
（加古川健康福祉事務所管轄）		
東播磨臨海精神保健協会	書面決議	1 回
東播磨圏域健康福祉推進協議会	書面決議 R3.6	1 回
健康ひょうご 21 県民運動東播磨会議	R3.7 総会中止	中止
健康ひょうご 21 県民運動東播磨研修会		1 回
心豊かな東播磨推進会議総会	書面開催 R4.3	1 回
（加古川医師会管轄）		
在宅医療推進協議会総会		中止
在宅医療・介護連携研修会	7/13zoom	1 回
東播認知症連携協議会	WEB 会議	4 回
（稲美町管轄）		
地域ケア会議	6/25	1 回
稲美町国民健康保険運営協議会	R4.2.3	1 回
稲美町要保護児童対策地域協議会	書面報告 6 月	1 回
地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会		中止

稲美町障害者福祉推進協議会	1回
稲美町行財政改革推進委員会	1回
稲美町総合計画審議会 書面会議 1回含む	8回
地域公共交通活性化会議 書面決議、参集型	6回
稲美町まちづくり活動サポート補助金交付審査会	1回
ふれあいまつり関連会議	2回
大池まつり関連会議	中止
トライやるウィーク関係会議（稲美北・稲美中）	4回
稲美中学校 学校運営協議会（含 防災デー、防災デー反省会）	8回
相談担当者連絡会	5回
認知症相談窓口担当者連絡会	5回
稲美町地域ネットワーク会議	2回
稲美町子ども・子育て会議	1回
子育て支援拠点施設等運営連絡協議会 8月中止	3回
稲美町健康づくり推進協議会 書面開催	1回
稲美町地域自立支援協議会	
全体会（1回）、運営会議（4回 WEB会議含む）	合計 5回
自立支援協議会・基幹相談支援センター 2市2町連絡会	2回
稲美町まち・ひと・しごと創生推進委員会 書面決議 1回	3回
キャラバンメイト連絡会	3回
（生活支援体制整備事業関連研修・会議等）	
生活支援体制整備事業管理行政担当者会議	1回
生活支援体制整備事業連携会議（えんがわナビ） Web会議	5回
（その他）	
県民フォーラム	中止
県社会福祉大会 欠席	
健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラム 中止連絡	中止
加古川地区防犯協会総会 R3.6.8 中止連絡	中止
地域ケア研究大会 中止	中止
社会を明るくする運動 7月1日の啓発活動中止 R3.6.8	中止
いなみふれあいまつり 中止連絡	中止
パラリンピック 採火式（8/12）	1回
大池まつり	中止
社会福祉士現場実習報告会	1回

加古川安全運転管理者部会総会 7/12（欠席）

こうのとり大使表彰式・研修会	1回
コープフードドライブ（打合せ含む）	4回
コープ委員ねっとわ〜く会議	2回

## (2) 東播磨ブロック社協職員業務研究会

月 日	内 容	場 所
6月25日	業務研究会担当者会議	稲美町障害者ふれあいセンター
8月31日	職員部会業務研修会	加西市
12月17日	職員部会業務研修会	加東市
2月25日	職員部会業務研修会	稲美町

## 5 相談事業の推進

### (1) 暮らしの法律相談【司法書士相談】

#### 《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として司法書士が様々な相談に応じます。事前予約は必要ありません。週ごとに会場を変えて実施しています。

#### 《現状と課題》

司法書士が専門的な相談にお答えするので、問題解決に向けて頼りになる相談窓口として機能しています。また、空いている時間は社協に寄せられる相談に助言を頂いています。

現状、気軽に相談できるように予約制は取っていませんが、日によって相談者が重なり待ち時間が長くなってしまふことが課題です。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年5月、6月、9月は中止となりました。

開催日・場所	第1木曜日 総合福祉会館 第3木曜日 母里福祉会館
時 間	13時30分～15時（18回開設）
相 談 員	司法書士（8名が交代で担当）
相談利用者	延べ40名

## (2) 暮らしの法律相談【弁護士相談】

### 《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として弁護士が法律的な相談に応じます。

### 《現状と課題》

弁護士が相談対応することで法的に複雑かつ広範囲な相談に応じています。開催回数の割に利用件数が少ないのが現状ですが、社協だよりに記事を掲載した直後は利用増になる傾向があります。

また社協が相談内容を詳細には把握していないのでフォローできる相談がそのままになっている可能性があるのが課題です。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年5月、6月、9月は中止となりました。

開催日・場所	原則第2木曜日	障害者ふれあいセンター
時間	13時00分～15時00分（9回開設）	
相談員	弁護士	
相談利用者	延べ29名	

## (3) 日常生活自立支援事業

### 《事業の概要》

在宅生活されている判断能力に不安のある高齢者や知的・精神的な障害のある方などが地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳や印鑑の預かりなどのお手伝いをします。

### 《現状と課題》

本事業では、金銭管理や生活上の様々な支援を目的として契約している方の日常生活は安定させることが出来ています。また、当事業を解約される場合でも、単に解約して終了ではなく、成年後見制度等の次の受け皿を調整しながら当事者支援を行っています。しかしながら、浪費等の予防のために金銭管理等が必要と思われる方であっても本人の同意がないために契約できず、有効な支援に入れられないなどの課題があります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、パーテーション設置、手指消毒、直接接触の機会を減らすための訪問時間の短縮、訪問回数の調整をしました。

加えて、新型コロナウイルス陽性反応のあった利用者宅の訪問をした事が後から分かっ

た際には速やかに抗原検査キットを用いて確認、二次感染防止への取り組みを行い、適切な運営に努めました。

契約人数 9 名

(認知症高齢者 5 名、精神障害者 2 名、知的障害者 2 名、その他 0 名)

#### (4) 生活福祉資金貸付相談

##### 《事業の概要》

高齢者世帯や障がい者世帯、低所得者世帯に子どもの学費や離職してしまった際の生活費などの資金を貸付することで世帯の自立を支援しています。

##### 《現状と課題》

資金の貸付が可能かどうかに限らず、経済的課題を抱える方の相談に応じています。この 2 年は特に、食糧等の支援も同時に実施してきました。

新型コロナウイルス特例貸付の延長が繰り返される中、他制度利用の可能性などを含めた相談対応に努め、他機関連携を意識した相談対応に努めました。

特例貸付の延長が繰り返される中、増え続ける利用者への償還指導や生活支援についてどのように実施していくのかといった課題があります。

相談実人数 155 人 (昨年度 158 人)

電話対応 522 件 (昨年度は、405 件)、来訪 208 件 (昨年度は、319 件)

内、新型コロナ特例貸付資金相談者 57 人

(※両資金重複申込有：緊急小口資金申請者 57 人、総合支援資金申請者 57 人)

#### (5) その他の一般相談

##### 《事業の概要》

日常生活自立支援事業利用、生活福祉資金以外にも福祉的な一般相談を受けており、相談内容に応じた課題解決のために必要な相談援助や他機関への連絡調整等を実施しています。

##### 《現状と課題》

新型コロナウイルス特例貸付の関係で生活福祉資金貸付の相談件数が多くなっています。また、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が解除された影響もあってか、病院や施設か

ら地域へ帰ってくるに際して、地域連携室等からの、日常生活自立支援事業に関する問い合わせが増加傾向にあります。

さらに、生活保護に関する相談内容が増加している点を見ると、現行の経済支援制度（特例貸付や本会独自の食料支援など）だけではコロナ禍で生じた住民の経済的ニーズには対応しきれないケースが増えていると感じます。

加えて、基幹相談支援センターと同室で相談対応、連携している関係から、健康・医療に関する相談が増加しており、医療機関等に相談者を繋ぐ事が増えています。ただ、病院や施設から相談者が地域に戻ってくる際に、連絡調整やサービス利用調整などが不十分なままの状況が散見されるので、ご本人がスムーズに地域復帰できるために、密な連携が課題だと感じています。また、利用可能な福祉サービス自体が不足していることも課題だと考えます。

#### 一般相談・支援の実績（延べ件数）

支援の内容	件数	摘要
福祉サービスの利用に関する支援	60	
障がいや病状の理解に関する支援	24	
健康・医療に関する支援	162	
不安解消・情緒安定に関する支援	33	
保育・教育に関する支援	2	
家族関係・人間関係に関する支援	58	
家計・経済に関する支援	414	
生活福祉資金貸付事業に関する支援	760	
緊急生活支援事業に関する支援	102	
生活技術に関する支援	3	
就労に関する支援	23	
社会参加・余暇活動に関する支援	1	
権利擁護に関する支援	18	
日常生活自立支援事業に関する支援	633	
介護保険に関すること	13	
生活保護に関すること	161	
虐待防止に関すること	13	
成年後見制度に関すること	8	
その他	54	
計	2,542	

## (6) 稲美町障がい者基幹相談支援センターについて

### 《事業の概要》

稲美町の受託事業として、障がいのある方やご家族が地域で安心して生活が送れるよう、社会福祉士などの専門の相談員が、相談支援や関係機関とのネットワーク構築などに取り組む基幹相談支援センターを令和2年7月から障害者ふれあいセンターで運営しています。

#### ○地域の実情に応じた業務

- (1) 総合的・専門的な相談支援
- (2) 地域の相談支援体制の強化の取組
- (3) 地域移行・地域定着の促進の取組
- (4) 権利擁護・虐待の防止

#### ○運営体制



### 《現状と課題》

相談件数の大半は障がい者が占めており、そのうち「精神障害」の相談が約6割で、更なる増加が見込まれることから専門的な相談体制の充実等が必要となり、町との協議により体制の整備を図ることになりました。結果、1名相談員を増員することができました。

また、町及び稲美町地域自立支援協議会と連携することで、緊急時の受け入れをはじめとする「地域生活支援拠点」の整備をすすめるとともに、医療的ケア児等の支援充実の検討が求められます。

#### ① 相談支援を行った障がい者（児）の月別実人数

種別		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
障 が い 者	身体障害	1	1	4	3	5	3	3	0	1	0	1	3	25
	重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	4	3	4	5	6	4	8	6	5	6	8	6	65
	精神障害	20	24	28	28	26	20	24	24	23	26	23	23	289
	発達障害	5	9	9	6	5	3	3	2	3	2	3	4	54
	高次脳機能障害	1	0	0	1	1	1	2	2	2	2	1	1	14
	その他	3	0	2	1	3	0	0	3	1	3	0	1	17

	合計（者）	34	37	47	44	46	31	40	37	35	39	36	38	464
障 が い 児	身体障害	0	0	2	1	1	1	5	1	1	1	4	3	20
	重症心身障害	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	知的障害	1	4	1	2	3	4	5	4	3	4	3	4	38
	精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達障害	1	1	3	4	0	1	1	0	2	0	2	1	16
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（児）	2	6	6	7	4	6	11	6	6	5	9	9	77
者・児 合計		36	43	53	51	50	37	51	43	41	44	45	47	541

② ネットワーク構築の取組（各種会議等へ基幹相談支援センターとして参加）

会議等の名称		回数等	開催日等
会 議	稲美町障がい者相談支援事業所等連絡会	6回	4月20日、6月15日、8月17日 10月19日、12月21日、2月15日
	市町相談支援担当者・基幹相談支援センター等連絡会	2回	5月25日、2月28日
	東播磨圏域基幹相談支援センター連絡会	3回	7月2日、11月15日、3月25日
	東播磨圏域医療的ケア児等コーディネーター連絡会	1回	12月17日
	4CitiesMap ワーキング （自立支援協議会事務局主催）	5回	4月21日、7月7日、9月29日 12月9日、2月10日
	雇用支援連絡会	1回	8月2日
	雇用支援連絡調整会議	9回	4月22日、5月27日、6月24日、 7月29日、8月26日、10月28日 11月25日、2月24日、3月24日
	稲美町地域自立支援協議会 全体会	1回	7月29日（令和3年度改選により）
	稲美町地域自立支援協議会 運営会議	5回	6月28日、10月8日、11月15日 1月6日、2月（書面）
	稲美町地域自立支援協議会 部会等	1回	10月25日
相談支援専門員初任者研修	7回	9月9日、9月10日、12月1日 12月2日、12月21日、12月22日 12月23日	

研修 (主な研修会)	ひきこもり当事者等居場所の担い手基礎研修	1回	10月16日
	障害児福祉施策における医療的ケア児支援に係る現状と課題	1回	11月16日
	相談支援従事者専門コース別研修	1回	11月19日
	福祉専門職対象防災対応力向上研修	1回	11月30日
連携	稲美町民生委員児童委員協議会	4回	4月8日(障がい者福祉専門部会) 7月8日(天満東ブロック会) 12月9日(障がい者福祉専門部会) 2月10日(全体会)
	いなみ野特別支援学校	1回	3月17日(進路連絡会)

## 6 福祉教育推進事業について

### (1) 福祉教育出前講座

#### 《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育てていく為に出前講座を行っています。講演会や車いす体験など学校のご要望に応じて調整を行います。

#### 《現状と課題》

天満南小学校では1名のボランティア協力を得て車いす体験を行いました。稲美中学校では職員による福祉講座をおこないました。

稲美中学校	10月15日 1年生130名 福祉講座
天満南小学校	10月26日 4年生29名 車いす体験

(職員が出向いて福祉についての講義)

### (2) 福祉教育推進事業指定校活動報告

#### 《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育てていく為の学習を支援する事業です。毎年、町内の小中学校(全校)、保育園幼稚園(今年度は、バンビ第1保育園)に助成を行っています。

《現状と課題》

各校で様々な取り組みを企画、実施していただき、実施状況を報告書にまとめて年度末に提出いただいております。各校ごとに特色ある内容で実施しており、園児や児童生徒が福祉に触れ合う機会の一助になっている様子が伺えます。

稲美中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>■七夕交流<ul style="list-style-type: none"><li>・いなみ野特別支援学校との交流</li></ul></li><li>■福祉体験学習<ul style="list-style-type: none"><li>・稲美町社会福祉協議会より認知症や高齢者の生活について学ぶ</li><li>・インスタントシニア体験</li><li>・福祉施設を訪問し手作りエコバックをプレゼントした</li></ul></li><li>■職業講話・進路学習<ul style="list-style-type: none"><li>・12名の講師による講話</li></ul></li></ul>
稲美北中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>■吹奏楽部<ul style="list-style-type: none"><li>・さくらウォーキング加古・天満</li><li>・コスモス畑コンサート</li><li>・はなかご演奏会</li><li>・秋のコンサート</li><li>・稲美町社会福祉協議会クリスマスコンサート</li><li>・にじいろふぁーみんミュージックフェスティバル</li></ul></li><li>■いなみ冬景色ボランティア</li></ul>
加古小学校	<ul style="list-style-type: none"><li>■福祉委員会活動（通年実施）<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染による差別をなくすよびかけ</li><li>・シトラスリボンプロジェクト</li></ul></li><li>■1年生<ul style="list-style-type: none"><li>・昔遊びの遊び方を学ぶ</li></ul></li><li>■2年生<ul style="list-style-type: none"><li>・1年生と交流（校内体験）</li><li>・「さつまいもほり」を一年生と一緒にしながら楽しく交流</li><li>・おもちゃランドに1年生を招待</li></ul></li><li>■3年生<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民と交流（田植え、稲刈り体験）</li></ul></li><li>■4年生<ul style="list-style-type: none"><li>・リサイクル出前授業</li><li>・手話学習体験</li></ul></li><li>■5年生</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生と合同で県立舞子高等学校環境防災科の生徒による防災学習</li> <li>・「色で描こう！私の未来」カラーコーディネーターの松尾氏による自分を色で表す体験学習</li> <li>■6年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす体験</li> <li>・修学旅行で、被爆体験者の経験談を聴き、平和学習</li> <li>・5年と合同で県立舞子高等学校環境防災科との防災学習</li> </ul> </li> <li>■すぎのこ学級、たけのこ学級、そよかぜ学級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生との交流（クイズなど交流）</li> <li>・通常学級との交流</li> <li>・他校特別支援学級児童生徒と Zoom によるクリスマス会・交流会</li> </ul> </li> </ul>
母里小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■田植え・稲刈り（3年）</li> <li>■老人クラブとの交流会（グラウンドゴルフをしながら6年生が交流）</li> <li>■稲同協研究大会 教職員参加</li> <li>■6年生を送る会（全校生）</li> <li>■わかくさ、くすのき、こすもす学級との交流（学校全体で関わりを深め、全校生と給食交流）</li> </ul>
天満小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者体験</li> <li>■お話会</li> <li>■音楽鑑賞会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさとの先輩事業」の一環として、雅楽の演奏を楽しみ、楽器体験を行った。</li> </ul> </li> <li>■キャリア教育</li> <li>■特別支援教育交流活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生、特別支援学級児童が、町内小中学校やいなみ野特別支援学校と ZOOM を使って交流を深めた。</li> </ul> </li> <li>■環境学習（自然環境について生態など学ぶ）</li> <li>■外国語活動（ALT と外国語を学ぶ）</li> <li>■食育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいも</li> <li>・ブロッコリー</li> </ul> </li> <li>■ボランティア活動（通年実施） <ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙の回収活動、校内の美化活動、高齢者へのはがき送付</li> </ul> </li> </ul>
天満東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 トマト先生に教わろう</li> <li>・4年 郷土の伝統文化を知ろう（味噌づくり）</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いなみ野特別支援学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年 ZOOMでの学年交流（ダンス・お絵かきゲーム）</li> <li>・2年 ZOOMでの学年交流（学校紹介、ダンス）</li> </ul> </li> <li>■福祉体験学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年 聴覚障害体験学習</li> <li>・5年 車イス体験</li> </ul> </li> <li>■思いやり・命を大切に作る心を育む活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年 色で描こう！私の未来 生き方を学ぶ授業 福祉委員会 シトラスリボンプロジェクト</li> <li>・3年 農家の仕事（野菜の生産者さんとの交流授業）</li> <li>・2年 命の学習「赤ちゃん先生」 各学年 花・野菜等の栽培 人権啓発パネルの掲示 横断幕（ネットモラル） 運動会（応援団） 食育授業</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;">天 満 南 小 学 校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■福祉体験学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜栽培体験</li> </ul> </li> <li>■保護者、地域の方々との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・独居高齢者へのお手紙</li> <li>・1年生給食参観</li> <li>・なんなんミニフェスタ</li> <li>・音楽参観</li> <li>・生け花体験</li> <li>・どんと焼き</li> <li>・スプーンおばさん感謝のお手紙</li> <li>・感謝の集い（感謝のお手紙を書き郵送した）</li> </ul> </li> <li>■体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのふた収集</li> <li>・さつまいも栽培</li> <li>・大根栽培</li> <li>・田植え・稲刈り体験</li> <li>・車椅子体験</li> <li>・中学生トライ・やる活動</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラえもん貯金</li> <li>・福祉委員会活動</li> <li>・1日体験入学（実施できなかったため、入学後に一年間に様子がわかるビデオ作成）</li> <li>・6年生を送る会（各学年で感謝の気持ちをプレゼントに表し渡した）</li> </ul> <p>■環境整備奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で校内美化活動</li> </ul>
バンビ第一保育園	<p>■夏野菜苗植え</p> <p>■冬野菜苗植え</p> <p>■読み聞かせ</p>

### (3) 実習生受入れ

月 日	受入人数	備 考
8月13日～10月11日	2名	兵庫大学

### (4) トライやるウィーク受入

月 日	受入人数	備 考
11月9日～11月10日	4名	稲美中学校 2名 稲美北中学校 2名

## 7 ボランティアセンター事業の推進

### (1) ボランティアコーディネーター

#### 《事業の概要》

住民とボランティアをつなぐお手伝いをしています。どんな分野でいつ活動をしたいのか、ボランティアコーディネーターがお話をうかがい、その方に合った活動をご紹介します。

#### 《現状と課題》

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をしながら事業を行いました。オープンカフェでは前年度に引き続き密を避ける為、講師を招かず行いました。傾聴ボランティア・地域活動者養成講座では会場受講とオンライン受講が選べる形式にしました。

町内のひとり暮らしの高齢者やハンディのある方等へお届けするお手紙に添える「おりがみ作品」を募集し192名の協力がありました。天満小学校、天満東小学校、母里小学校放課後児童クラブなどよびかけをしてくださり多くのおりがみ作品が集まりました。お手紙傾聴利用者の方に送付した他、ひなたんぼ小規模多機能ホームや稲美苑に展示をしていただきました。

講座を開催しても応募のない場合もあり、新規ボランティアの加入は少ない状態です。定年を迎えた後、再雇用などで働いておられる方が多い為参加する時間がない事が考えられます。ボランティアに関する情報の提供の仕方、募集の方法について検討が必要です。

## (2) 活動相談、助言等

ボランティア相談	31件（新規登録者11名）
ボランティア等相談	58件
ボランティアコーディネート	20件

## (3) お買い物ツアー

### 《事業の概要》

買い物困難な方を対象としたお買い物ツアーを企画しました。町内在住の75歳以上の独居、あるいは高齢夫婦世帯等自らの外出手段のない方が対象。今年度については、参加者の家から社会福祉協議会事務所、お店までの送迎は、職員が担当しました。

12月17日（イトーヨーカドー明石店） 参加者2名 ボランティア2名

## (4) ボランティアスクール

### 《事業の概要》

ボランティア活動経験のない方、初心者にはボランティア活動体験をする機会を提供しています。体験を通して地域に生きづらさを抱える方がいらっしゃること、誰かのために活動されるボランティアさんがいることを知り、支えあう地域づくり、ひとりぼっちを作らない地域をめざす活動について知っていただきたいと思います。

中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為）

## (5) 各種養成講座の実施

- ① 要約筆記啓発講座  
定員に満たないため中止
- ② ボランティア講座（オープンかふえの中で実施）

5月～10月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止。

月 日	内 容	場 所	参加者
4月9日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	2名
11月12日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	9名
12月10日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	8名
1月14日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	2名
2月18日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	3名
3月11日	おしゃべりかふえ	障害者ふれあいセンター	7名

参加者 31名

③ 手話入門講座

月 日	場 所	参加者数
11月19日～4月22日 (20回)	障害者ふれあいセンター 多目的室	延 95名

緊急事態宣言の影響で、年度内に終了できず、最終回が令和4年度にずれこんでいます。

④ 傾聴ボランティア・地域活動者養成講座

月 日	場 所	参加者数
2月7日	障害者ふれあいセンター 多目的室	17名（会場14名、 オンライン受講3名）
2月14日	障害者ふれあいセンター 多目的室	16名（会場14名、 オンライン受講2名）
2月21日	障害者ふれあいセンター 多目的室	15名（会場12名、 オンライン受講3名）

## (6) 傾聴ボランティアグループ活動の支援

### 《事業の概要》

稲美町内の高齢者宅や施設等に出向き、いろいろなお話を聴きながら、一緒におしゃべりする活動を通じて、ひとりでも多くの方に心安らぐ時を提供できることを目的としています。

### 《現状と課題》

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、電話傾聴、お手紙傾聴を継続して行っています。

- ・傾聴ボランティア人数 33名
- ・傾聴ボランティア派遣延べ人数 238名（219回）
- ・定例会の実施 8回
- ・役員会の実施 10回

### 傾聴ボランティア活動状況（延べ人数と活動回数）

対象者（施設）	活動回数	ボランティア延べ人数
施設お手紙傾聴（JAはなかご）	13回	28名
傾聴電話	83回	81名
傾聴お手紙	123回	129名
計	219回	238名

## (7) ふれあいまつり

中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為）

## (8) いなみ大池まつり

中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為）

## (9) 交流会

### 視覚障害者交流会

月 日	内 容	場 所	参加者
-----	-----	-----	-----

10月28日	視覚障害者バス旅行	篠山城跡観光	6名 協力v3名
--------	-----------	--------	-------------

聴覚障害者交流会（耳の日のつどい）

月 日	内 容	場 所	参加者
3月27日	耳の日つどい 「聞こえない子供をどう育てたらよいか」	加古福社会館	21名

(10) ボランティア連絡会の開催

■連絡会会議

月 日	内 容
10月18日	ボランティア連絡会 前年度決算報告と事業報告、今年度予算と事業計画、スポーツ交流について

■連絡会役員会議

月 日	内 容
10月18日	来年度予算と事業計画

■各ボランティア総会

月 日	内 容	場 所	人 数
3月8日	運転ボランティア会議	障害者ふれあいセンター	11名
3月24日	給食ボランティア代表者会議	障害者ふれあいセンター	6名
3月24日	手話サークル総会	障害者ふれあいセンター	11名

■ニュースレターの発行

ボランティアのつながりづくりや情報提供の為に発行  
237部×5=1,185部（4月～9月分（7.8月は合併））

(11) ボランティア登録者

ボランティア連絡会の構成  
グループ数 24 グループ  
会員数 287 名

ボランティアセンター グループ数 5 グループ  
会員数 88 名  
個人 8 名

## (12) ボランティア保険への加入手続き

加入者数：1,351 人

ボランティア保険の適用を申請された方＝社協関係者 0 人  
外部団体 0 人

## 8 啓発活動

(1) 広報紙等の発行 毎月

(2) 各種ボランティア募集チラシの発行

1	おもちゃライブラリーボランティア
2	どんまい!!れんげ草ママの会 イベントサポートボランティア
3	折り紙ボランティア
4	花一輪まちづくり会ボランティア
5	運転ボランティア
6	介護ボランティア

## 9 その他

(1) 福社会費 4,188,000 円

《事業の概要》

住民を会員として町全体の福祉活動をすすめる社会福祉協議会の運営維持経費及び相談事業、ボランティア関係事業、地域福祉推進事業を支える会費です。

### 《現状と課題》

自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの世帯にご協力をいただいています。しかしながら、自治会の負担面から一括での納付が進んでいることもあり世帯個々が福社会費を納めている実感がないのが現状です。住民を会員とする社会福祉協議会であること、その活動財源に住民が協力をしていることについての広報が行き届いていないことが課題です。

例年6月にお願いしていましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、戸別訪問や対面、集会での依頼や集金等が難しいと判断し、時期をずらして、8月を納入月間とさせていただきました。また、接触の機会を減らすため、現金持ち寄りだけではなく、各自治会に振込用紙を同封し、銀行振込みを導入しました。

- ・銀行振込用紙の利用、34自治会
- ・昨年と同額 43、昨年より増額 11、昨年より減額 11
- ・戸別集金 4自治会

## (2) 共同募金

### 《事業の概要》

社会福祉法に規定され、厚生労働大臣の告示により全国一斉に展開される募金運動です。地域福祉を進めるための財源として、社会福祉協議会のみならず、ボランティアグループや障害者団体等の活動費として配分されます。

### 《現状と課題》

住民や企業・商店等多くのご協力とその募金を集めて頂く自治会、福祉委員、民生委員児童委員など多くの募金ボランティアのご尽力によって多額の募金を頂いています。

しかしながら全国的な傾向ではありますが、年々募金額が減少しています。多くの方に募金の意義をご理解頂けるような広報の在り方が課題です。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、できるだけ、接触の機会を減らすため、街頭募金を中止、企業等への訪問も控えました。寄付金の持ち寄りについても、福社会費と同様に、振込用紙を同封、銀行振込を導入させていただきました。

目標額 5,749,000円

内 容	金 額
戸 別 募 金	3,964,750円
学 校 募 金	99,523円
法 人 募 金	430,000円
職 域 募 金	140,504円
そ の 他	11,452円

合 計	4,646,229 円
-----	-------------

実績に応じて、令和4年度に稲美町社会福祉協議会へ配分されます  
配分内訳

配 分 先 (事 業)	配 分 金
聴覚、視覚障がい者交流会	91,256 円
手話教室 (入門)	245,656 円
傾聴ボランティア・地域活動者養成講座	62,500 円
運転ボランティア運転講習	105,100 円
ひとり親家庭小学校入学祝贈呈	50,000 円
社協だより	958,320 円
社協パンフレット発行	91,300 円
人権福祉フェスティバル	61,160 円
福祉教育指定校事業	1,150,000 円
福祉学習担当者会議	68,807 円
印刷機の貸出	115,921 円
団体活動費助成 (障がい者団体等)	350,000 円
団体活動費助成 (ボランティア等)	1,045,980 円
次年度繰越金	700,000 円
合計	5,096,000 円

令和3年度に稲美町社会福祉協議会への配分金 5,096,000 円

### (3) 歳末たすけあい運動

#### 《事業の概要》

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、共同募金の一環として行われる募金運動です。経済的支援が必要な方への配分や火災などに罹災された方へ配分されます。

#### 《現状と課題》

福祉会費及び共同募金と同様、自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの方のご協力を頂いています。用途については大部分を歳末配分金が占めており、対象者の推薦を民生

委員児童委員にお願いしています。しかしながら、個人情報や経済的支援の側面から対象者の抽出が難しく、十分な配分が行き届いていないのが現状です。

#### 収入内訳

内 容	金 額
戸 別 募 金	1,240,940 円
そ の 他 (募金箱+利子 17 円)	17 円
前年度繰越金	38,553 円
合 計	1,279,510 円

#### 支出内訳

内 容	金 額
特別支援学級・学校修学旅行助成	290,000 円
火事見舞	50,000 円
歳末配分金	604,000 円
保育園助成金	309,500 円
事務費	26,010 円
合 計	1,279,510 円

\*歳末助けあい配分：84 世帯 176 人へ

なお、六甲バター株式会社様、旭食品株式会社様をはじめ、住民の皆様からご寄付頂きました食料品につきましても、歳末配分金と一緒にお配りさせて頂きました。

#### (4) 善意銀行

##### 《事業の概要》

住民の「世の中の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という善意を生かすために現金、物品等の寄付をお預かりして、これを社会福祉団体や生活にお困りの方などに払い出し、地域福祉の推進のための橋渡しや個別支援をする仕組みです。

##### 《現状と課題》

家族への供養として善意銀行に寄付を下さることが一般的であった時代に比べると募金総額は大きく減少してきていますが、依然として、地域における住民や団体、企業等の寄付窓口として多くの方々にご協力を頂いています。今後、身寄りのない方の善意の拠り所としての遺贈等広く寄付を受け付けられる仕組みの整備が課題です。

#### 預託金等

※件数の重複有り。

預託金	1,009,939 円	64 件
-----	-------------	------

葉書	32,043 円相当	20 件
切手	25,276 円相当	6 件
お米	1118 k g	23 件
車椅子	1 台	1 件
文房具	多数	4 件
タオル	76 枚	4 件
マスク	405 枚	2 件
食料関係	2833 k g	16 件
介護用品	多数	8 件
洋服	41 枚	3 件

指定払出等

払 出 先 等	金 額	物 品
生活困窮者 (16 人)	515,000 円	
生活困窮者返済分 (13 人)	△526,000 円	
火事見舞	10,000 円	
その他	1,000 円	
合 計	0 円	

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収された世帯を含む困窮世帯等を対象に、令和4年2月24日から食料品パックの無料配布を行い、合計63世帯へお渡しする事ができました。